

松原小学校の児童数の 現況と減少対策は

三浦 正司 議員

Q 先日開催した「市民と議会
のつどい」における松原地
区のテーマで「松原小学校の児童
数減少対策」があった。活発な意
見交換があったが、成案を見出せ
ずに終わった。松原小学校の児童
数の現況と今後の見通し、児童数
減少対策について、特に具体的な
対応案があるのか、あるいはその
方向性について聞きたい。

A 特別転入学制度により一時
的に児童数を確保できるが
地区の児童数増加には結びつかない。市全体として住宅開発の誘導
や地域振興策に取り組むなどの対
策が必要である。まずは通学区域
についての庁内検討会を立ち上げ
ることから始めたい。この4、5
年が勝負である。多方面からの対
策を考えなければならぬと思っ
ている。

大村市の教育力を高めよう

園田 裕史 議員

Q 黒田教育長就任に際して
さまざまなビジョンを掲げ
ていることは理解できるが、具体

的な戦略が聞こえてこない。教育
長というポストは誰がやってもい
いわけではない。これまで効果を
上げてきた不登校対策、郷土教育、
豊かな学力への取り組み等の継続
事業に加え、新たに取り組む施策
について具体的な方向性を述べて
いただきたい。

A 家庭や地域の教育力の向上
に取り組みたいと考えてお
り、まずは学校区単位で拠点をつ
くり、学校支援会議による活動を
展開したい。この中で、各団体が
連携し、家庭や地域とのつながり
を持たせ、大人、子どもの連帯感、
心の結びつきを醸成したい。これ
らが学校、家庭、地域で循環する
中で、それぞれの教育力が高まる
と思う。



産業・経済・労働

身障者等の高速バス停への タクシー乗り入れについて

村上 信行 議員

Q 大村ICの高速バス停は、
階段が急で身障者等にとっ
ては不便である。木場バス停も上
り線はいいが、下り線は階段であ
る。このことから、これまで身障

者等の高速バス停へのタクシー乗
り入れの検討をお願いしてきた
が、進捗状況はどうなっているか。

A 再度、県、市、西日本高速
道路で協議を行ってきた
が、大村IC高速バス停へのタク
シー乗り入れについては、道路交
通法等の規制により難しい。木場
バス停も下り線は階段となってい
る状況である。現在、これらの検
討に加え、大村バスターミナル発
福岡行き的高速バスを運行できな
いか検討している。

新幹線の設計変更と 地元住民対策を行え

村上 信行 議員

Q 新幹線の木場トンネル口
(柴田町内会) 付近の市道
が遮断され、地元住民は生活が不
便になると困っている。市の
新幹線推進室は地元住民の要望を
聞き、鉄道・運輸機構と十分に協
議を行い、地元住民の理解を得る
よう努力せよ。

A 当該市道は技術的な問題に
よって迂回路を設置すること
になっており、地元住民には不便
をおかけすることになる。鉄道・
運輸機構では、人、自転車、バイ
クがある程度直線的に通ることが
できるような複数の案をつくって

いる。年内には説明したいと考え
ている。

狢犬に対する治療費助成等 の取り組みについて

山口 弘宣 議員

Q 狢犬の方々にとって狢犬は
欠かせないものであり、狢
の成果を握る大きな要素を占めて
いる。優秀な狢犬を確保するため
には相当な投資が必要である。市
としては今後もイノシシ捕獲など
継続して行っていかねければなら
ないことなどを考慮すると、狢犬
取得費助成、狢犬に対する治療費
助成が必要であると考えが見解
を尋ねる。

A 本市においてはイノシシ捕
獲に対する助成を始めたば
かりであり、当面はこの事業の効
果について検証したいと考えてい
る。現在のところ狢犬の取得費や
治療費に対する助成は考えていな
い。

